

薬物乱用防止教室に参加して



☆僕には、薬物なんて関係ないと思っていた。けれども、ビデオで話していた人も、意志が弱いんじゃないかと、薬に支配されていると言っていたので、誰かに誘われても「ゼツタイ」に断ろうと思いました。何枚か写真も見ただけで、どれも注射の後や、幻覚のせいで傷だらけになっていたし、何年経っても幻覚などが見えると言っていたので、心にも傷が残るとわかりました。医者でも、「幻覚は治せない」と言っていたので、やりたくないと思ったし、やってはいけないと思いました。皆が意識して、やらない心をもつことが大事だと思いました。

☆薬物乱用防止教室に参加して、薬物はすごく怖いものだと改めて思いました。幻覚が見えると、虫（ゴキブリ）が手からうじゃうじゃ出てくるのも想像するだけでぞくぞくしてしまいました。1円玉の重さにも満たないくらいの覚せい剤の量なのに、脳や体にすごく影響が出るのでとても怖いし、絶対に使用したくないと思いました。MDMAは、（ミッキーなどの）キャラクターの絵などが書いてあって、中高生向けだと知って、勧められたら怖いと思いました。もし、誰かに誘われたりしたら、勇気を出して断ろうと思いました。DVDで見た体験者も言っていたように、1回でも使ったら、10年経っても残るし、きっと後悔すると思うので、絶対に使用しないし、間違えても使わないように気をつけたいです。

☆今回の警察署の方のお話を聞いて思ったことは、まず、自分から薬物を使わないことを改めて学びました。特に使ってはいけないと思った理由は、幻覚などの脳に害を及ぼすこと。これは、自分が普段通りの生活できなくなるだけでなく、友達や家族、そして見知らぬ人まで巻き込んでしまう恐れがあるからです。自分から絶対に使わない、友達に言われても使わない、そして友達ももし使っていたなら止められるようにしたいです。また、ビデオで見た2人の話から、「やめたくても、やめられない」などの中毒性があるので、とても危ないと思いました。今回は、とても貴重な体験をさせていただいて、ありがとうございました。

☆今回の薬物乱用防止教室についてのお話を聞いて、薬物乱用の恐ろしさを改めて知ることができました。最近、テレビのニュースでよく聞くようになった「薬物」がどんなものなのか、また使ってしまうとどうなるのか詳しく聞くことができ勉強になりました。特に「幻覚」は話を聞いていて怖いと思いました。手からゴキブリが出てきたように見えたり、誰かが殺しにくると思ってしまったりと、いろいろな例が挙げられていて、そんな風になってしまうのかと驚きました。使った人に「幸せ」になった人はいないという言葉聞いて、薬物を使っても何もメリットはないし、苦しいことなんだと思いました。そして、自分だけの問題ではなく、周りの人にも迷惑をかけてしまうことを知りました。今までも薬物乱用は絶対にしてはいけないと思っていましたが、よりその思いが強くなりました。貴重なお話をありがとうございました。芸能人やスポーツ選手だけでなく、豊橋でも毎週のように薬物所持の摘発事件が新聞などに出ています。

「自分には関係ない」と考えるのではなく、「薬物」を絶対にやらないという気持ちをもつことが大切です。

